

マイサフ

低位吸気弁取扱説明書


品番：HBVL50

この度は、低位吸気弁をご採用いただきありがとうございます。
この取扱説明書は、低位吸気弁を正しく取り付け、使用していただくためのものです。
施工の前に必ずお読みください。また、いつでも見られる場所に保管してください。



特長

- 床下に設置できます。
- 排水の逆流時には、フロートに連結された逆流防止弁で止水できます。
- 製品高さは、最小寸法120mmとコンパクトなので、設置場所に困りません。
- 通気管への接続が袋ナット方式の為、脱着可能でメンテナンスが簡単に行えます。
- 騒音(チャタリング)の発生防止機能付きのため作動時の騒音も低減できます。
- 排水トラップの封水が保護されます。

※この取扱説明書では、事故防止に関する情報を  マークで示します。



この表示を無視して取扱いを行なった場合、使用者が軽傷を負うかまたは、物的損害のみが想定される内容を示しています。

- 施工は、必ず給排水設備専門店で行なってください。

前澤化成工業株式会社

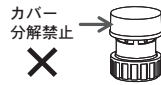
目次

1. 低位吸気弁の構造及び機能 3
2. 施工前の確認 4
3. 取付け方法 6
4. システムの設置例 8



●施工前の保管に関して、車中等の高温になるような所に長時間保管しないでください。製品の変形等のおそれがあります。

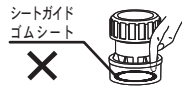
●低位吸気弁のカバーを分解しないでください。製品を一度分解しますと製品性能が低下します。



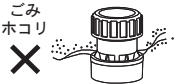
●低位吸気弁は、必ず垂直に取り付けてください。斜めや横向きに設置すると弁は正常に作動しません。斜めに設置すると、臭気漏れや漏水の原因になります。



●製品内部に手を入れ、弁体部（シートガイド・ゴムシート）に触れたりしないでください。製品性能が低下します。



●施工前の保管や施工時において、弁のゴムシート面にゴミやホコリが入らないように注意してください。ゴミが付着すると、臭気漏れや漏水の原因になります。



●本製品は吐き出し機能はありませんので、正圧解消を目的とした設置はしないでください。

●満水試験および高圧洗浄を行なう際は、必ず低位吸気弁を取り外し、密閉キャップ等でフタをしてから作業を行なってください。低位吸気弁の設置は、満水試験後に行なってください。

●排水管の詰まりが発生した場合は、必ず低位吸気弁を取り外し、異常がないか確認してください。

●防火区画貫通部がある場合は、その部分から1 m以上離して取り付けてください。

低位吸気弁の構造及び機能

●低位吸気弁の構造及び機能(止水原理)

(1)通常時、⑤弁体、⑥パッキン、⑧フロートは下がった状態であり、通気を防げません。

(2)排水が逆流した時に、⑧フロートの浮力により⑤弁体、⑥パッキンが浮上して可動部への排水の浸入を防ぎます。

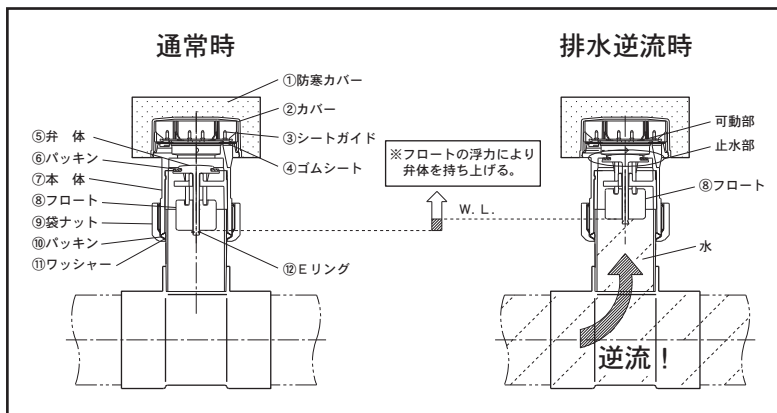


図-1

施工前の確認

低位吸気弁を取り付ける前に、ポリ袋から製品を取り出し、必ず次のことを確認してください。

- (1) 写真-1 に示す部分(2カ所)が青色の接着剤で固定されていることを確認してください。(図-2)

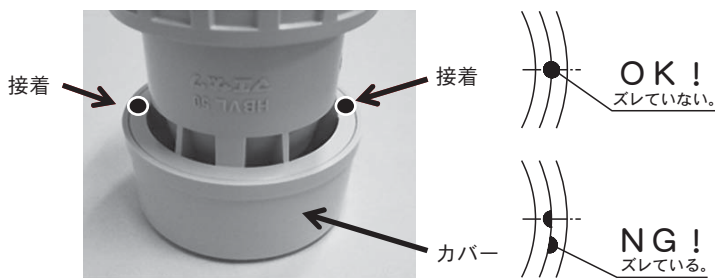
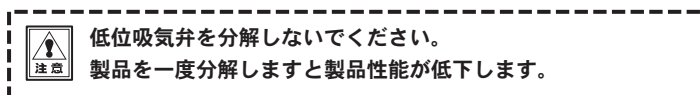


写真-1

図-2

- (2) 図-3、4を参考に、ゴムシートの作動性を確認してください。
製品を逆さまにした状態でゴムシートが下に落ちる(ゴムシートが開く)か確認してください。(図-3)
次に製品を垂直に立てた状態で、ゴムシートが下に落ちる(ゴムシートが閉じる)か確認してください。(図-4)

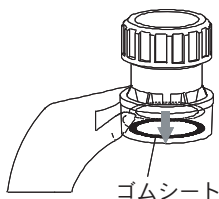


図-3

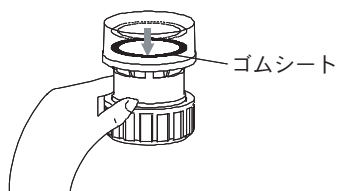


図-4

施工前の確認

(3) フロートを指で軽く押して、上下に動くことを確認してください。

(図-5, 6)

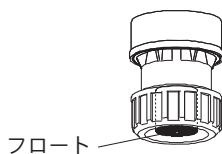


図-5

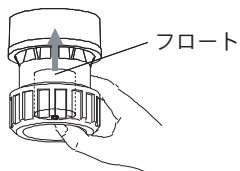
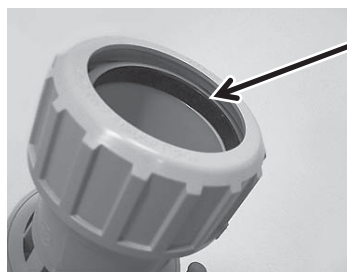


図-6

(4) 袋ナット本体内にワッシャー・パッキンの順に装着されているか確認してください。(写真-2)

(5) 上記での確認作業で異常が認められた場合は、お手数ですが、仕入れ先へ連絡し商品を交換してください。

(6) 異常が無い場合は、防寒カバーを再装着して使用してください。



ワッシャー(白)
パッキン(黒)

写真-2

取付け方法

●取付け手順

低位吸気弁の接続は下記を参照ください。

(1)塩ビ管に接続する場合

袋ナットを緩めてから塩ビ管に挿入し、接続部分を袋ナットで締め付けてください。(図-7)

塩ビ管に挿入しにくい場合は、一度袋ナットを取り外してから取り付けを行なってください。



袋ナットを戻す際、ワッシャーとパッキンの順序に注意してください。順序を間違えると漏水の原因になります(図-8)

(2)铸铁管や鋼管に接続する場合

市販品の排水用バルブソケット(HVS)などを介して塩ビ管に変換してから取り付けてください。(図-9)

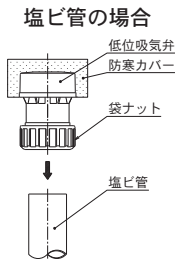


図-7

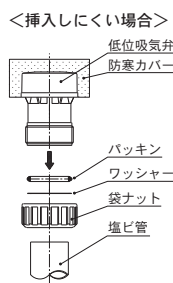


図-8

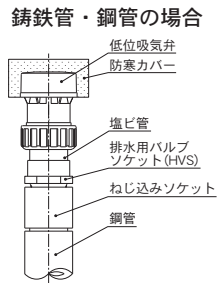


図-9

袋ナットの締め付け

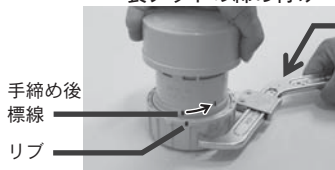


写真-3

フックスパナ
(※パイプレンチはNG)



袋ナットを手締め後、フックスパナを使用し、必ずリブ2個分増し締めを行なってください。強く締めすぎると、破損及び漏水の原因になります。

●設置後の確認

低位吸気弁設置後、実際に水を流して、袋ナットの接続部から水漏れがないことを確認してください。

取付け方法

●点検口の位置

低位吸気弁は、通常メンテナンスフリーですが、万一故障が発生した場合に備えて修理・交換が容易にできる場所に設置してください。

設置する場合は、点検口を設けてください。

(図-10)

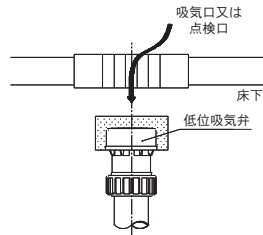


図-10

●吸気口の位置

低位吸気弁は、空気の流入がスムーズな場所に設置してください。やむを得ず、密閉度が高く、容積の小さなパイプシャフトや床下に設置する場合は、吸気口を設けてください。(図-10)

●設置場所の注意点

(1)防寒カバーは、装着したまま使用してください。

防寒カバーを使用することにより、結露防止・凍結防止に効果があります。(写真-4)

(2)排水横枝管から通気管を取り出す場合は、排水管断面の垂直中心線上部から45°以内の角度で取り出してください。(図-11)

(3)低位吸気弁は、最上流部の器具排水管を接続した直後の下流側から取り出してください。



写真-4

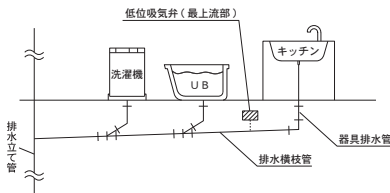


図-12

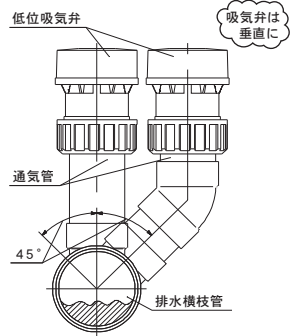
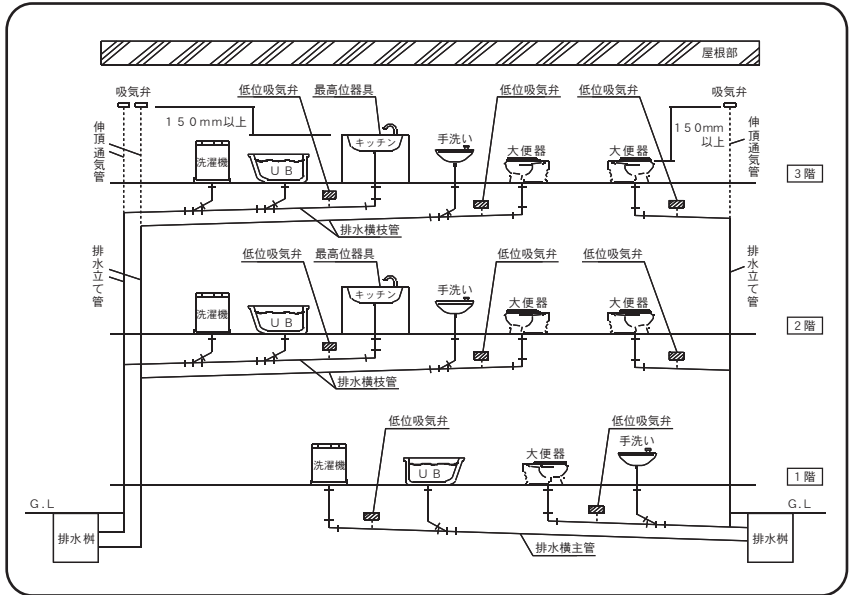


図-11

システムの設置例



下記に各支店のご案内をしますが、更に当社ホームページ
<http://www.maezawa-k.co.jp> より最新の営業所一覧がご覧いただけます。

前澤化成工業株式会社

本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-7-1 NOF日本橋本町ビル ☎03-5962-0711(代) FAX.03-5695-0161

- 北日本支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル ☎022-748-4288(代) FAX.022-748-4366
- 北関東支店 〒330-0841 さいたま市大宮区東町2-20 三井住友海上大宮東町ビル ☎048-647-8833(代) FAX.048-647-9825
- 東京支店 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-22-17 日本生命亀戸ビル ☎03-6807-0668(代) FAX.03-6807-0737
- 中部支店 〒460-0003 名古屋市中区錦2-9-29 ORE名古屋伏見ビル ☎052-218-6921(代) FAX.052-218-6920
- 関西支店 〒541-0052 大阪府中央区安土町3-3-9 田村駒ビル ☎06-6268-0071(代) FAX.06-6268-0072
- 中国支店 〒730-0805 広島市中区十日市町1-1-9 鷹匠ビル ☎082-294-6425(代) FAX.082-294-6428
- 九州支店 〒810-0074 福岡市中央区大手門2-3-11 HTCリハヘルテ大手門ビル ☎092-771-7151(代) FAX.092-761-0194